

比企の歴史まるわかり！ 9市町村広報リレー

鳩山町版



大河ドラマ「鎌倉殿の13人」比企市町村推進協議会広報リレー企画、3月は鳩山町です。鳩山町でのゆかりの史跡等をご紹介します。

問合せ：鳩山町役場政策財政課 ☎049-296-1212

鳩山町でのゆかりの地

「笛吹峠」と「鎌倉街道」



嵐山町との境にある道沿いに、笛吹峠について説明している掲示板が設置されています。

■笛吹峠（鎌倉街道上道）

いざ鎌倉！

鳩山町須江と嵐山町將軍澤との間にある峠で、鎌倉街道上道の難所の1つです。鎌倉から上野（群馬県）に通じる鎌倉街道の要衝にあたり、多くの武士団が行き来しました。武蔵武士にとってこの道はまさに「いざ鎌倉」の道だったようです。

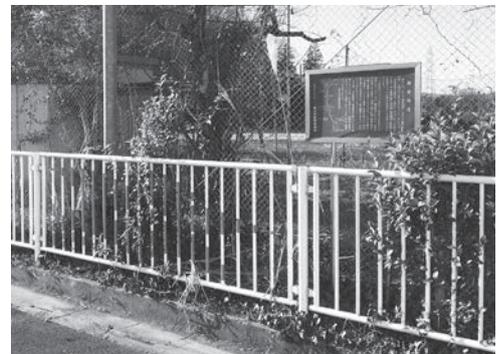
「史跡笛吹峠」の碑に面した、鎌倉街道と推定される道の東にある山道は、直線的で掘割状の形状であることから、この道が上道であるとの説もあります。

■鳩山町内に残る鎌倉街道の名残り ～比企一族に思いを馳せて～

町内には、かつて「鎌倉街道」と呼ばれ、鎌倉（神奈川県）に通ずる一筋の道が走っていました。今も道筋に残る海道端・海道端沼・大道など、街道にまつわる地名がその名残りをとどめています。

この街道は、古代から交通路として利用されていたとの説もあり、鎌倉時代になると、幕府の所在地である鎌倉と、関東各地をはじめ、信濃・越後・奥州の国々を結ぶ重要な交通路となりました。普段は静かなこの街道も、ひとたび戦いが起こると、甲冑に身を固めた武蔵武士の団が鎌倉を目指し、あわただしく馬を走らせたことでしょう。

その後、この街道は、戦国時代の終わりごろまで利用されましたが、江戸時代になり、五街道が整備されると、しだいに利用されなくなり、やがて廃道となってしまいました。



現在の鳩山中学校グラウンド端に、鎌倉街道を説明している掲示板が設置されています。



現在の赤沼地内に「廻國供養塔」と呼ばれる道標を兼ねた石塔があります。

鎌倉街道は、現在の県道ときがわ坂戸線や県道東松山坂戸線に近い場所を通っていたとされています。今宿コミュニティセンターを出発点に、県道を北上し、笛吹峠まで歩くことで、当時の人たちとほぼ同じルートを辿ることができます。皆さんも、比企一族への思いを馳せながら、旧鎌倉街道を辿るウォーキングをしてみてください。

